

税金は国家の収入ではない

～ オカネにまつわる先入観を取っ払おう！ ～

お金とは何か？



解答例) モノ・サービスを交換するための媒体？

↑ お金がある性質を持ってるから結果としてそうなるだけ
ではその性質とは？



しかるべき相手にそれを渡すことにより、
その数値(金額)に見合ったモノやサービス
が手に入ると皆に信じられているもの

〇〇が欲しいなあ。

そうだ！〇〇を持ってる人に**お金を渡せば手に入る**んだった。

ではまずお金を手に入れなきゃ。でもどうすれば**お金が手に入る**の？

そうだ！皆が**お金を渡せば欲しいものが手に入る**と信じてるから、得意なものを作って、欲しい人に提供すれば**お金が手に入る**ぞ！

それじゃあこれから得意とする△△を作って欲しい人を募ろう！

あ、欲しかった△△を作ってる人がいた！

お金を渡せば△△が手に入るはずだから、あの人にお金を渡して手に入れよう！

お金

品物 △△

あ、欲しかった〇〇を作ってる人がいた！

お金

品物 〇〇

△△募集者

〇〇提供者

でも、そもそもお金として何を選べば皆に 「それを渡せばモノやサービスが得られる」 と信じさせることができるの？



誰もが必要とする
消費財

相手は必需品なので欲しがるから、
必然的に交換に応じてくれる

but...

嵩が張るし、傷みやすく、
長期の保存に耐えられない



貴金属

必需品ではないが、余裕のある人は
欲しがるから、相手は自分の欲しい
ものを余裕のある人と交換すれば手
に入るから、交換に応じてくれる

細かな金額の取引が困難で
本物かどうか鑑定も必要



コイン

貴金属を小さな金額に分割したうえ
偽物を作りにくいように加工したか
ら貴金属と同じく信用してくれる

高額な金額の取引では個数
や重さが膨大になり、不便



(兌換)紙幣

いつでも貴金属と交換してくれると
信じられているから信用されている

交換される貴金属の量以上
に発行することができず、
経済活動の拡大に支障あり

本位通貨制度から管理通貨制度へ



必需消費財



貴金属



コイン



兌換紙幣



不換紙幣

都度消費されるが、新たにほぼ同量が供給される

新規発掘で増えるが、全体から見れば微量

改鑄などをしなければ、貴金属の場合と同じ

貴金属の引換証だから、貴金属の場合と同じ

本位通貨

自然**自発的**な信用

+

総量はほぼ**不変**

法律で受領が**強制**されているだけで、貴金属との交換は**保証**されていない

管理通貨

政府による**人為的**な信用

+

総量に物理的**上限ナシ**

ところが・・・

本当は**不換紙幣**の**総量**について**物理的上限は無い**はずなのに・・・

財政法の縛り

国の歳出は、**公債又は借入金以外**の歳入を以て、その財源としなければならない。

(財政法第4条)

すべて、**公債の発行**については、日本銀行については、**日本銀行にこれを引き受けさせ**、また、借入金の借入については、**日本銀行からこれを借り入れてはならない**。

(同第5条)

外見が同じことによる先入観

兌換紙幣と見かけも同じ、使い方も同じなので、意識の上で**区別が付かない**。

兌換紙幣



不換紙幣



家計からの類推による先入観

個人（家計・事業所）では、**お金を造れば**贋金づくりの**大罪**。ゆえに赤字（**借金**）があれば、生産活動などにより**お金を調達して解消しなければならない**。そのアナロジーで**国家財政**の赤字も同じく**一大事**だと思い込む。



- **お金の総量は増やせないものだ**と勝手に思い込み、
- その結果、**国の借金**は**税金**で返さなければならないと思い込み、
- 実際は消費を落ち込ませ**日本経済を委縮**させる**消費税**を仕方ないと思い込む。

実は . . .

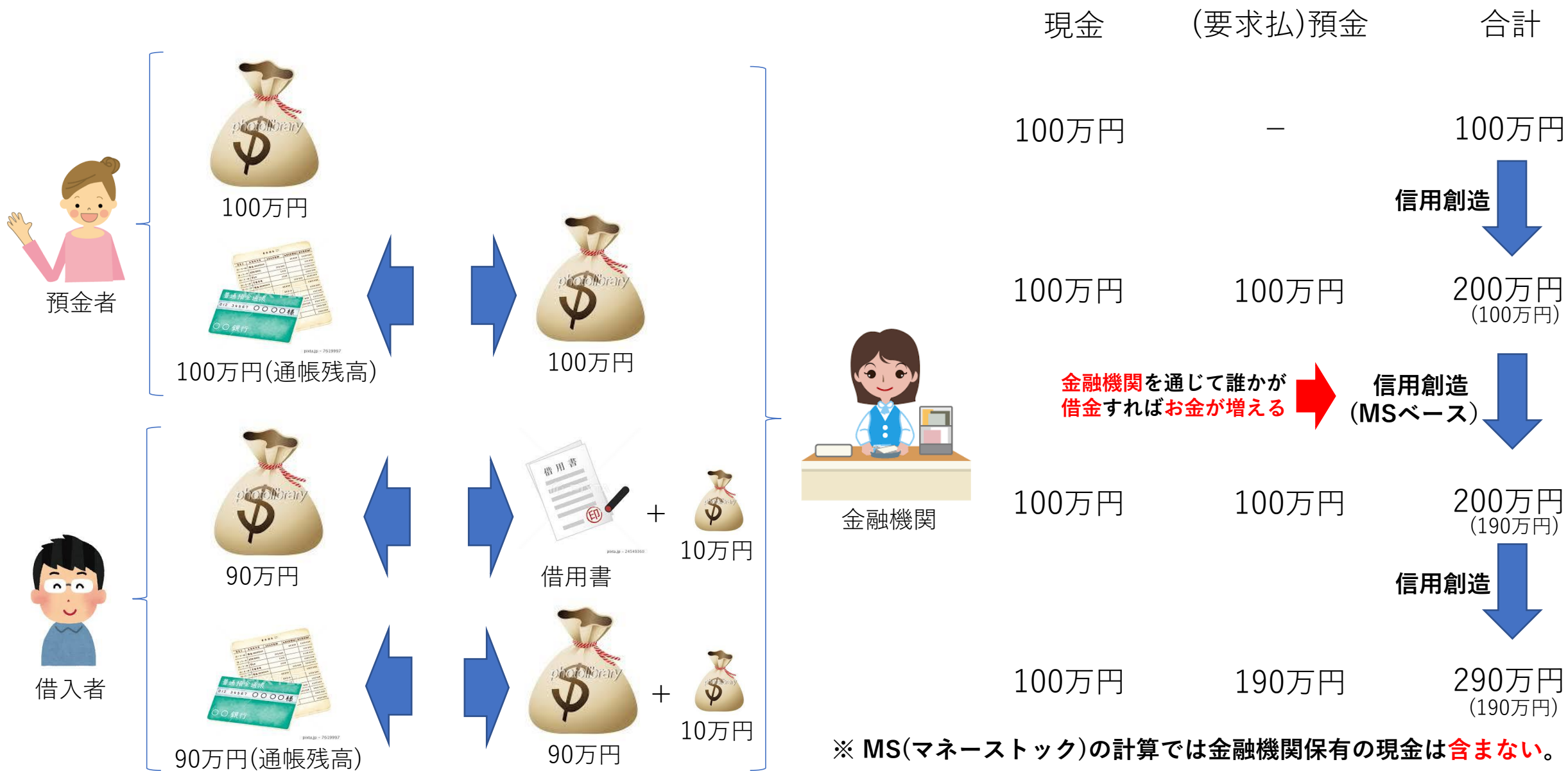
政府が**直接お金を作ったり**（財政法などの法律に実は抵触しない）、
国債を発行して日銀に引き取らせたり（財政法第5条の但し書き条項）
しなくても、**実はお金は勝手に増えている。**

そのカラクリとは . . .

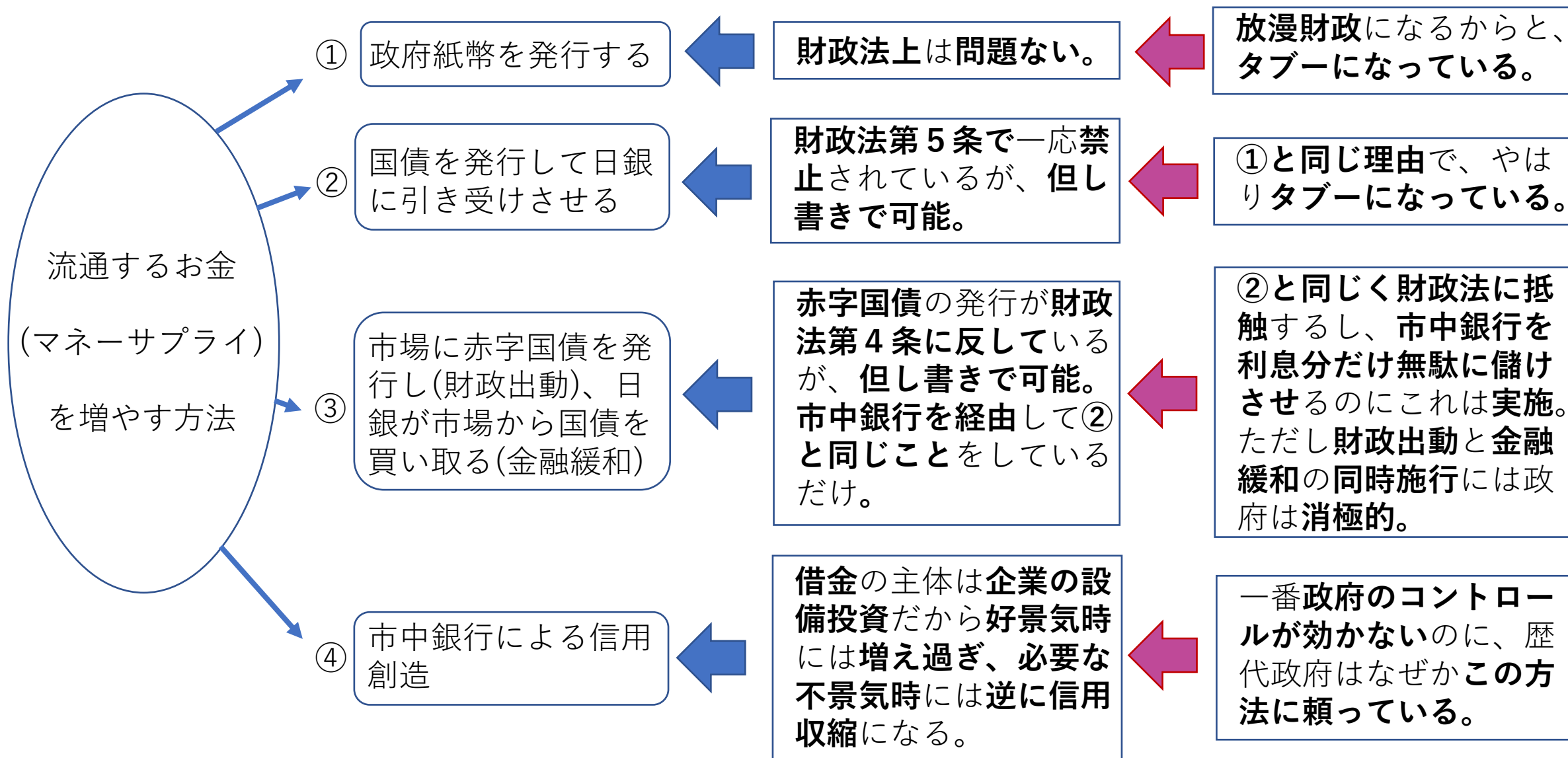


信用創造

信用創造とは？



経済の発展に応じて流通するお金を増やす必要があるが・・・



不換紙幣の信用とは？

出発点は政府による人為的な信用
法律上は・・・↓

日本銀行法 第 46 条 第 2 項

日本銀行が発行する銀行券（日本銀行券）は、法貨として無制限に通用する。



しかし（特に民主国家では）単に法律で宣言しただけで信用されるわけがない。
では、不換紙幣の信用力を実質的に支えているものは何か？



不換紙幣に対する「それを持っていくとモノ・サービスと交換してくれる」という信仰が
毎回現実になるので、その信仰がますます増強される。
では、なぜ毎回現実になるのか？



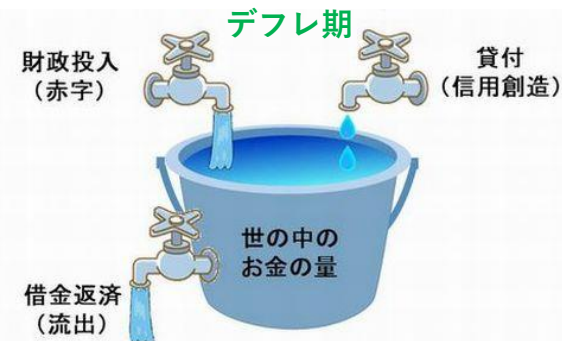
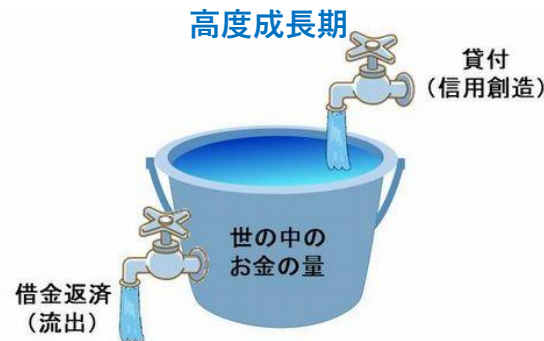
その通貨(円)を流通圏(日本)に持っていくと、欲しいモノやサービスが十分提供されている

||

いくら当該通貨(円)が増えても対応できるほど流通圏(日本)の生産能力が高い

結 論

- (1) 通貨の歴史による先入観や法律や常識に惑わされて、大多数の人は**お金は増やしたり減らしたり勝手に作ったりできないもの**だという**思い込み**がある。
- (2) しかし、現在の**管理通貨制度**のもとでは、**信用創造**でお金は勝手に増えたり減ったりするし、**政府が自由に増やしたり減らしたり**できる。
- (3) だから政府は予算実行のために**民間からお金を調達する必要はない**。**税金**とは単に**増えすぎたお金を減らすためのお金の回収**に過ぎず、**国家の収入ではない**。
- (4) 加えて昔の**高度成長期**には、**信用創造**でお金が増え過ぎ、**税金**でそのお金を**回収**していたから**財政黒字**になっていただけ。別に**財政が健全だったからではない**。
- (5) 逆に**デフレ**の**今日**では、**信用収縮**が起きているのであるから、**政府は**（政府紙幣がタブーなので）**減ったお金を補うために借金で財政赤字を増やさなければならない**。



- (6) しかも**日本**では、**生産能力が十分すぎるほど高い**ので**供給不足にはならず**、いくら**財政赤字で通貨を増やしても**、**通貨価値の下落 (インフレ)**は**生じない**。

おまけ

グラフで見る経済指標の推移



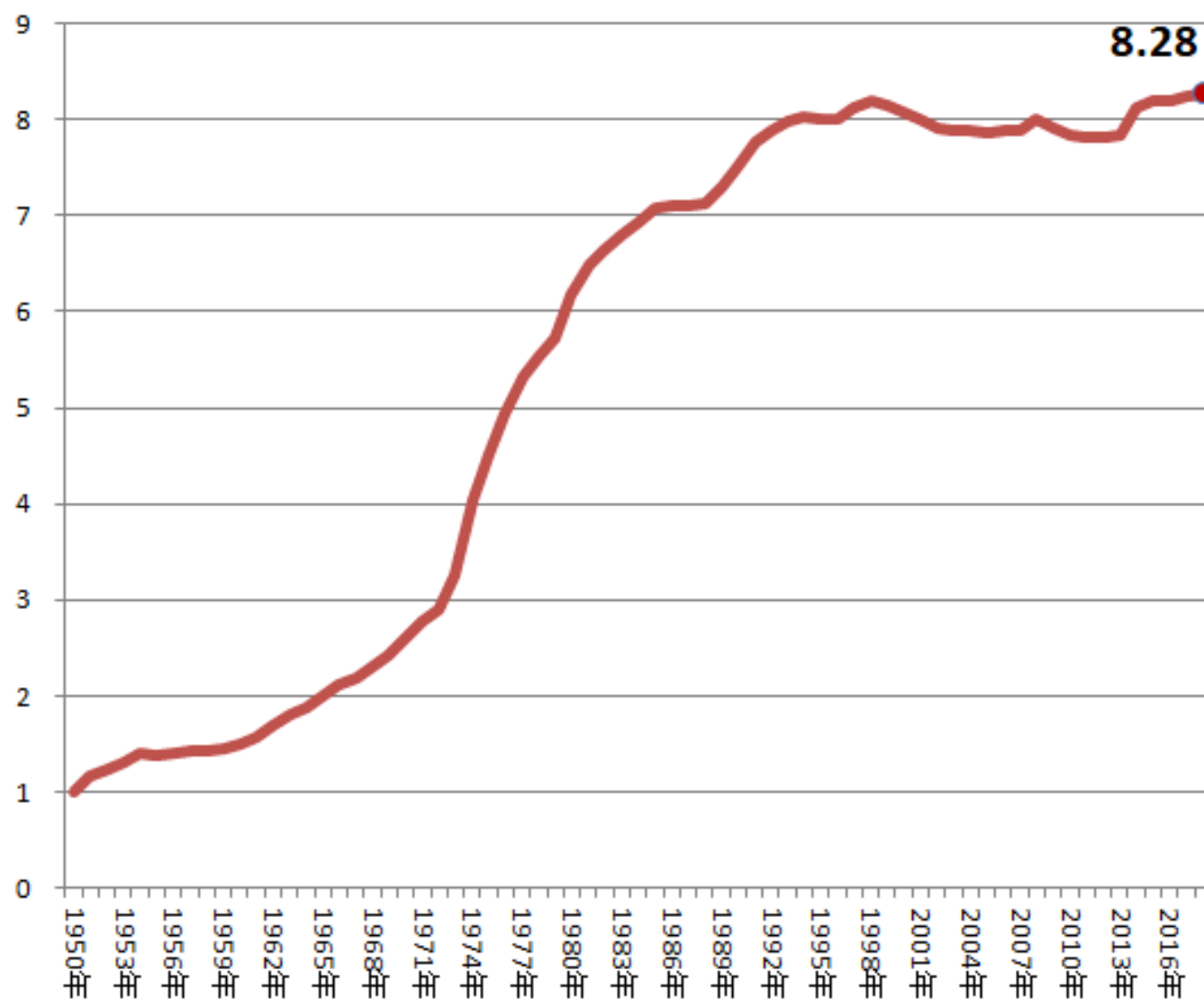
消費者物価指数

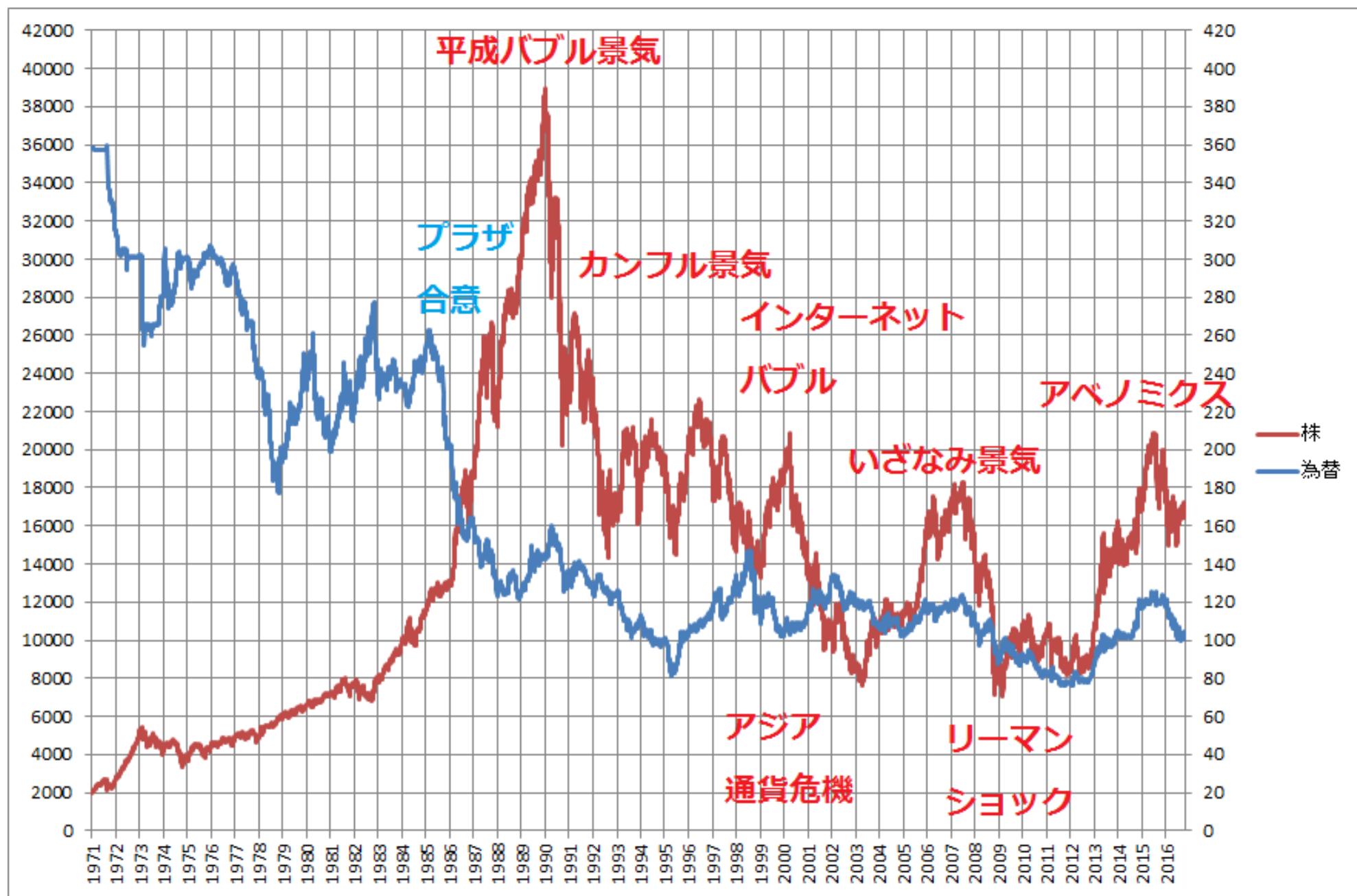
(1950年の値を1.00とした時、持家の帰属家賃を除く総合、全国)

(1950～2018年、2018年分は直近月)

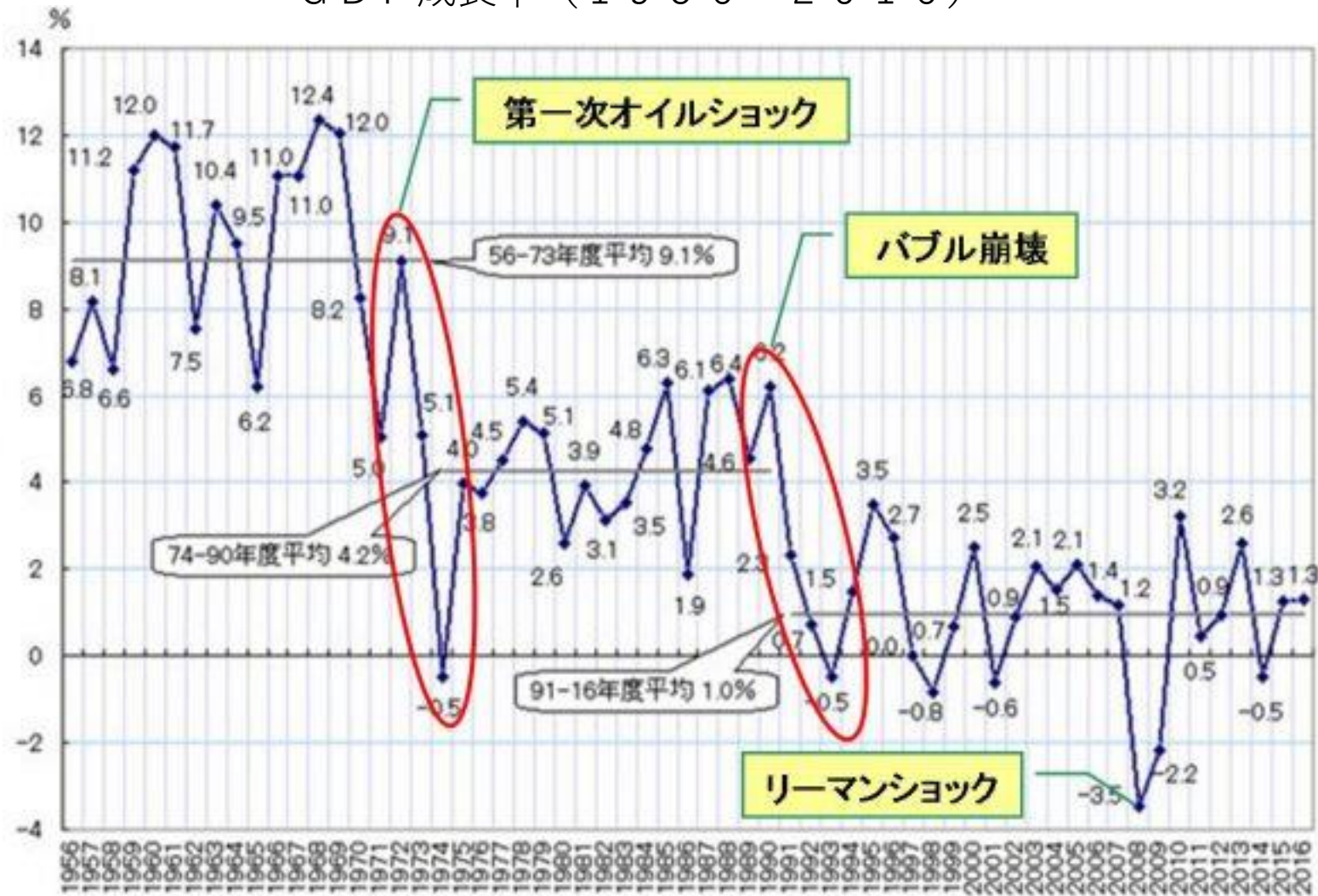
2018年,

8.28





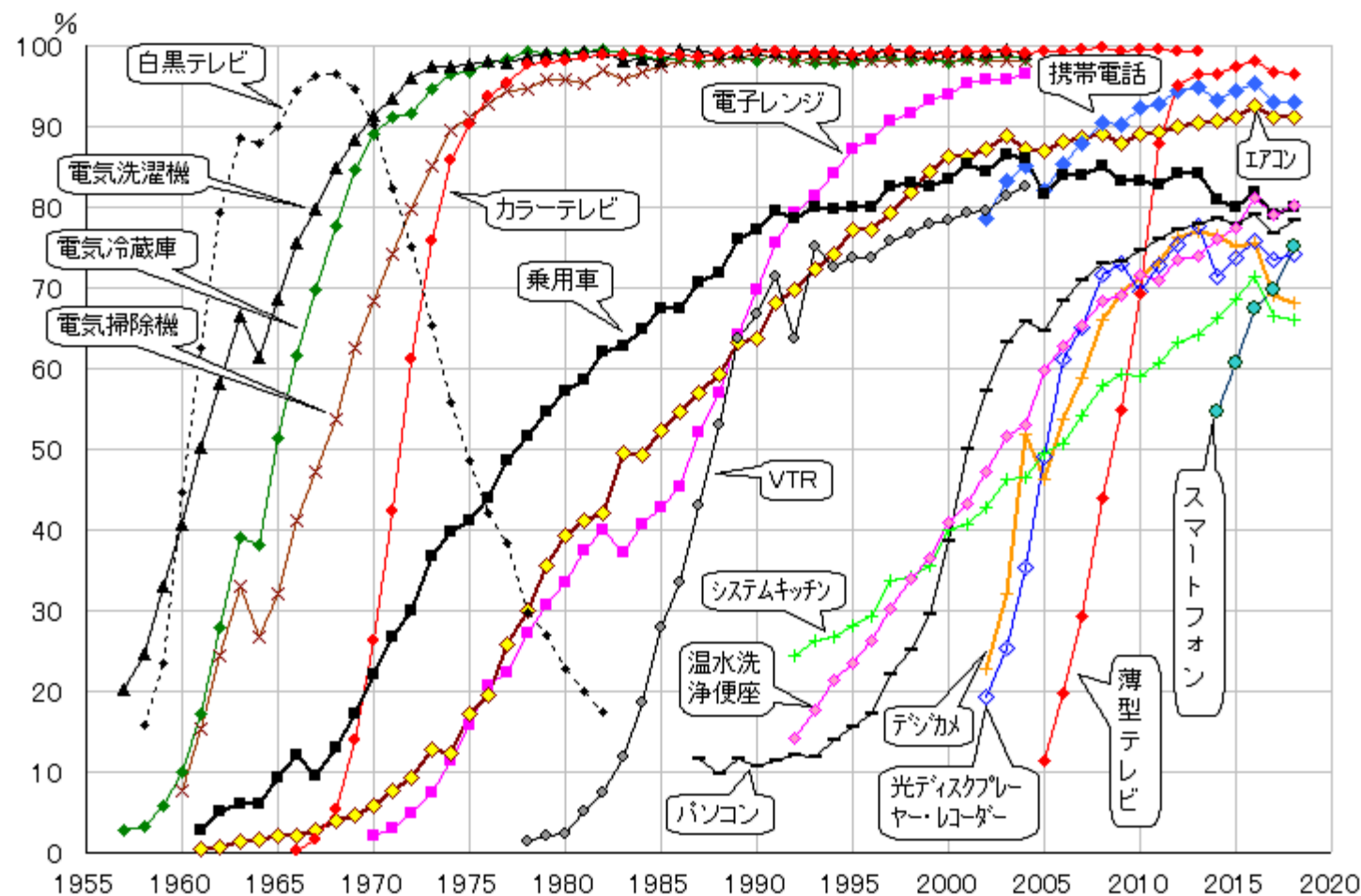
GDP成長率（1956～2016）



(注) 年度ベース。複数年度平均は各年度数値の単純平均。1980年度以前は「平成12年版国民経済計算年報」(63SNAベース)、1981～94年度は年報(平成21年度確報、93SNA)による。それ以降は2008SNAに移行。
2017年4-6月期1次速報値 <2017年8月14日公表>

(資料)内閣府SNAサイト

主要耐久消費財の世帯普及率の推移(1957年～2018年)

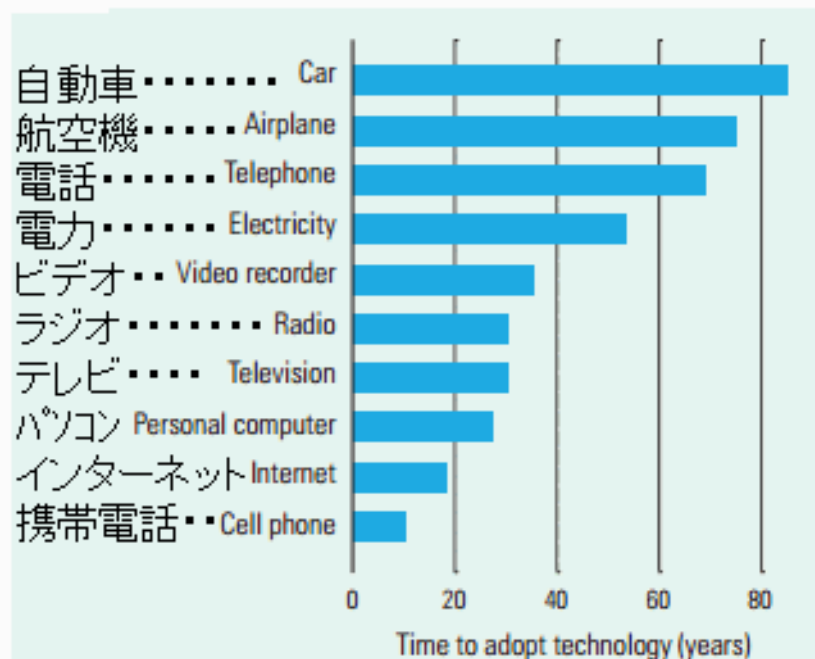


(注) 二人以上の世帯が対象。1963年までは人口5万以上の都市世帯のみ。1957年は9月調査、58～77年は2月調査、78年以降は3月調査。05年より調査品目変更。多くの品目の15年の低下は調査票変更の影響もある。デジカメは05年よりカメラ付き携帯を含まず。薄型テレビはカラーテレビの一部。光ディスクプレーヤー・レコーダーはDVD用、ブルーレイ用を含む。カラーテレビは2014年からブラウン管テレビは対象外となり薄型テレビに一本化。

(資料) 内閣府「消費動向調査」

米国における新技術の普及スピード

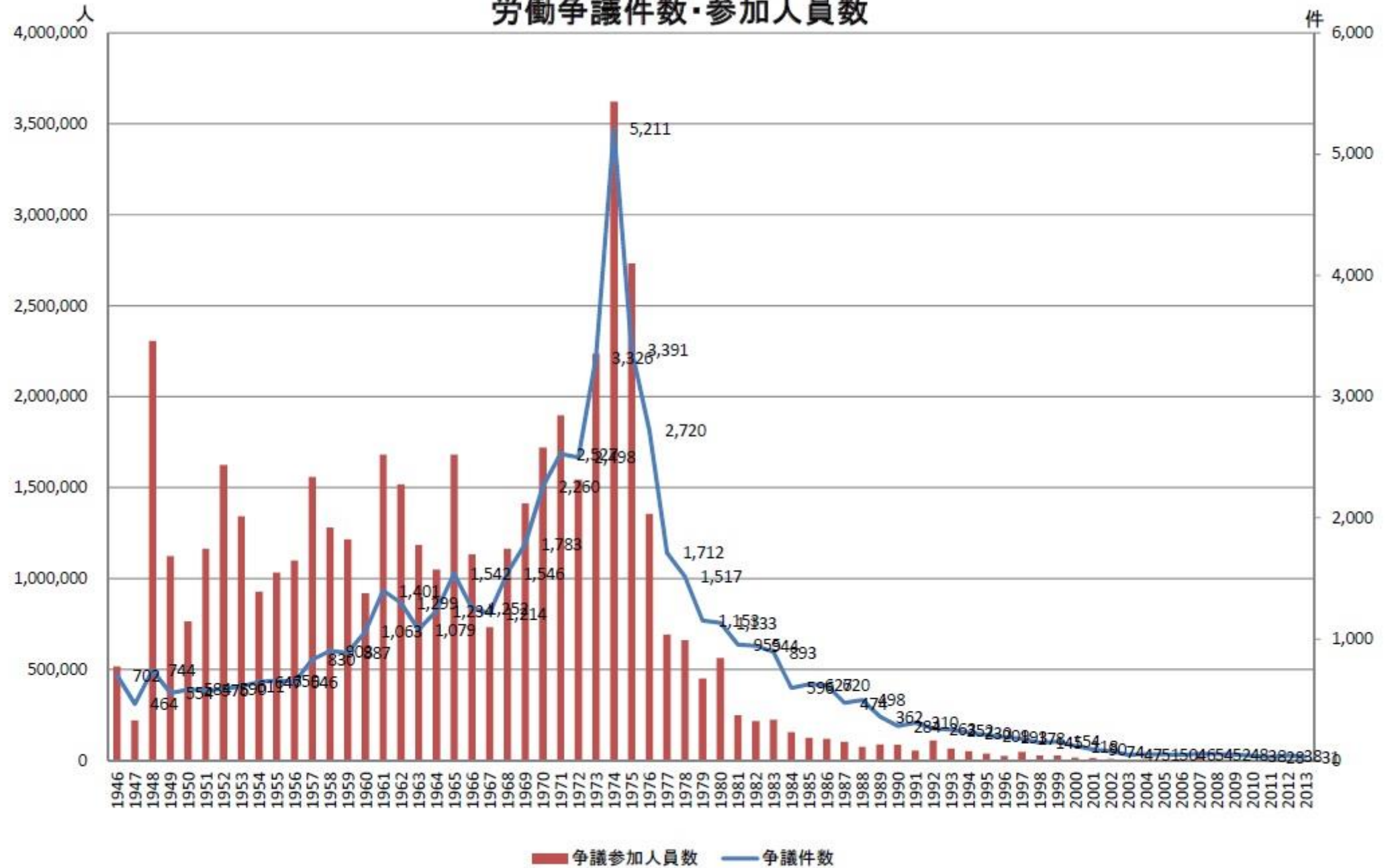
人口の50%にまで浸透するまでの年数



Note: Adoption refers to time for penetration of 50 percent of the population.
Source: Donay 2014.

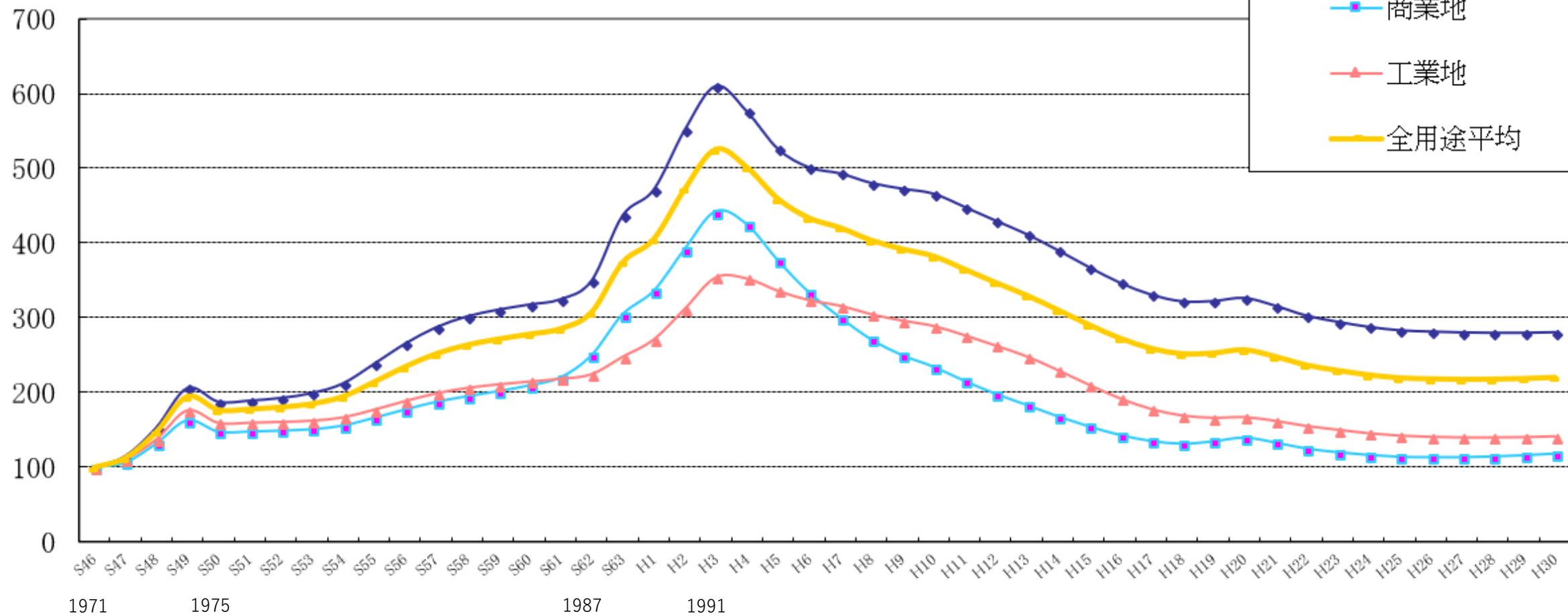
(資料) human development report 2015

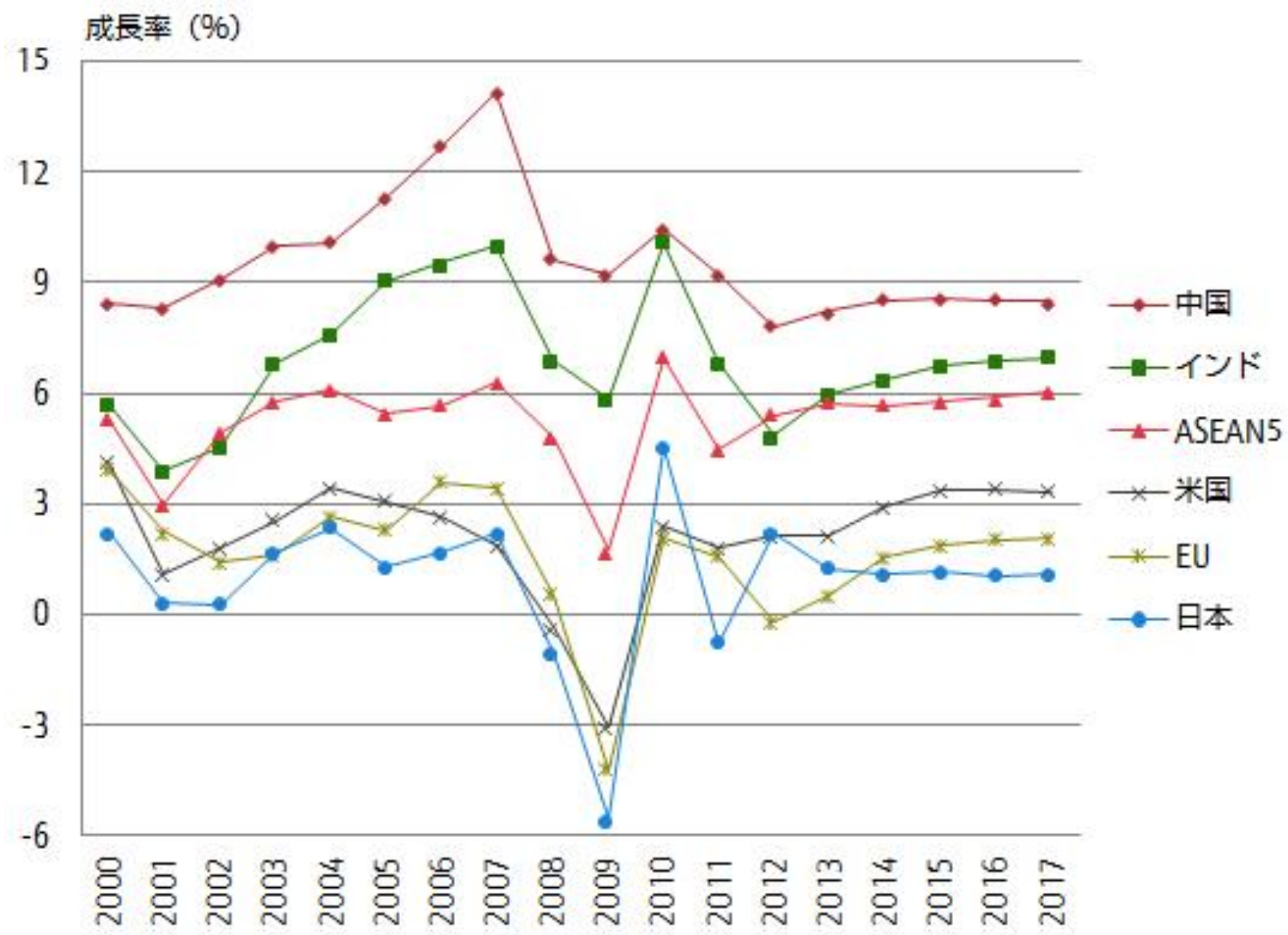
労働争議件数・参加人員数



地価推移 (S 4 6 ~ H 3 0)

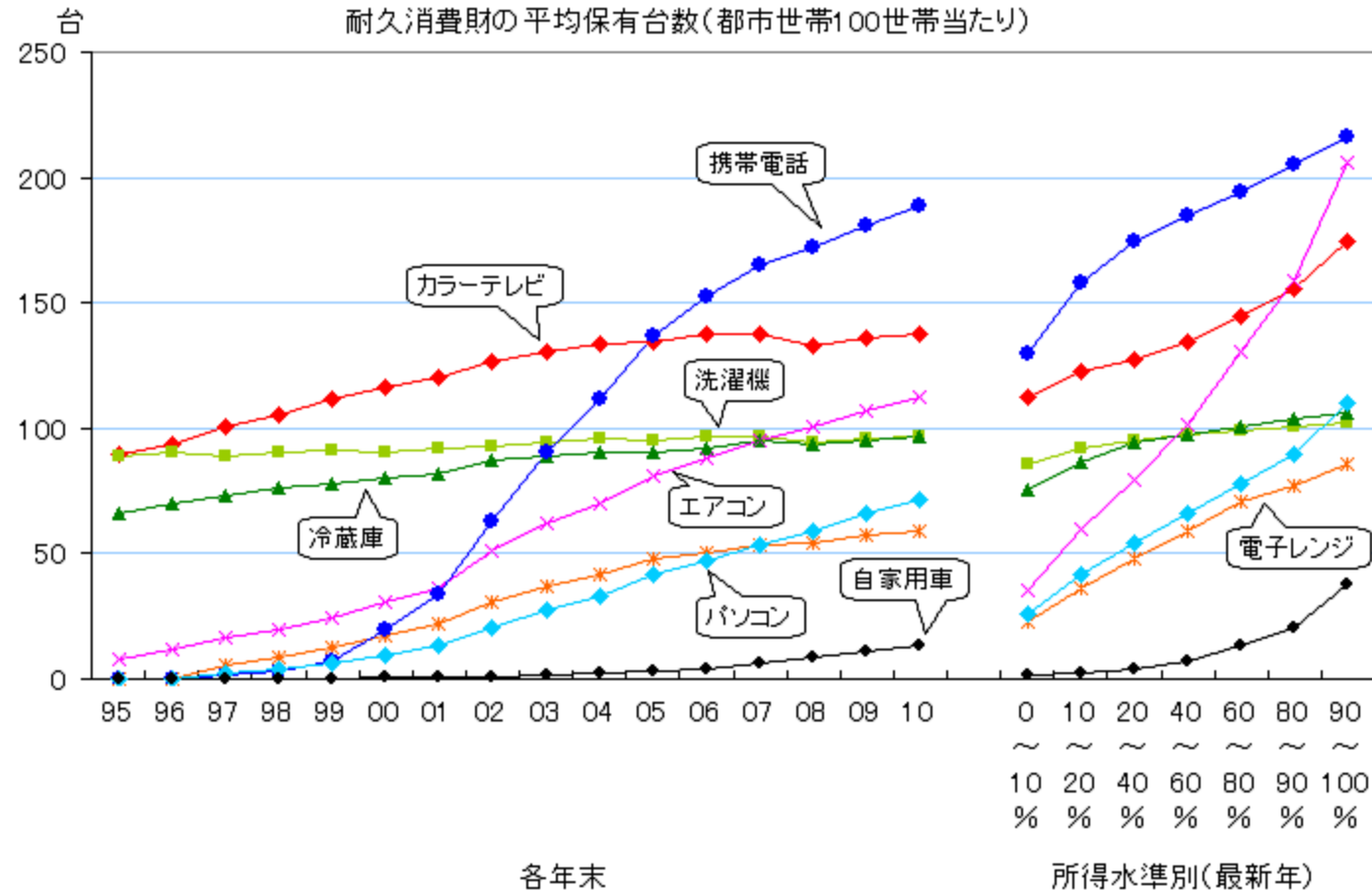
指数 (S46=100)





データ出所：IMF

中国における耐久消費財の普及状況



(注) 抽出調査による。01年まで農家世帯を含まず、02年以降都市部の全世帯対象。2009年の調査対象65506世帯、平均世帯人数2.89人、平均就業者数1.49人。所得水準別は下からの所得階層区分による。

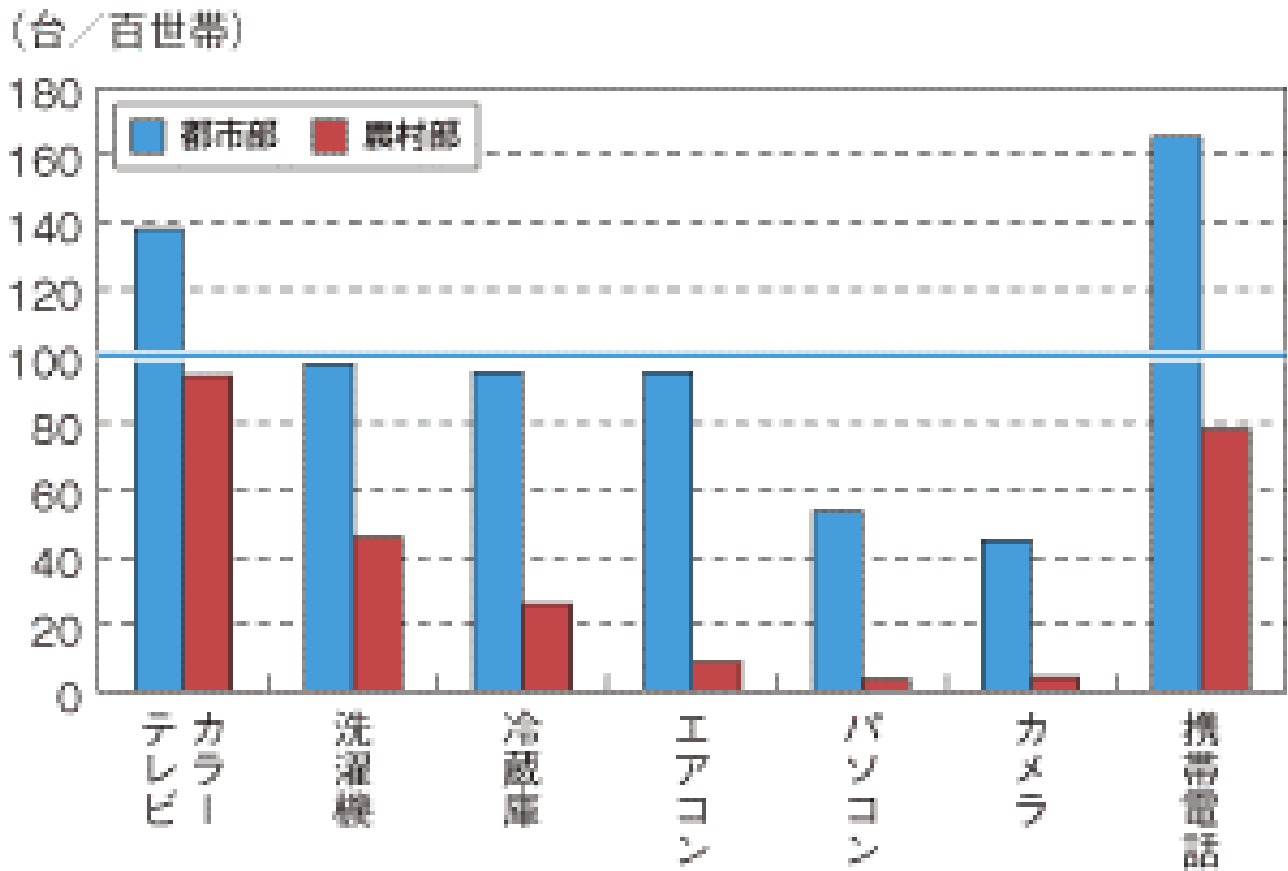
(資料) 中国統計年鑑

中国における都市と農村の家電製品の普及率比較

図表4 都市と農村の家電製品の普及率格差

品目	都市	農村	差
洗濯機	96.8	45.9	50.8
冷蔵庫	95.0	26.1	68.9
エアコン	95.1	8.5	86.5
カラーテレビ	137.8	94.4	43.4
カメラ	45.1	4.3	40.8
コンピュータ	53.8	3.7	50.1
携帯電話	165.2	77.8	87.3
固定電話	90.5	68.4	22.2

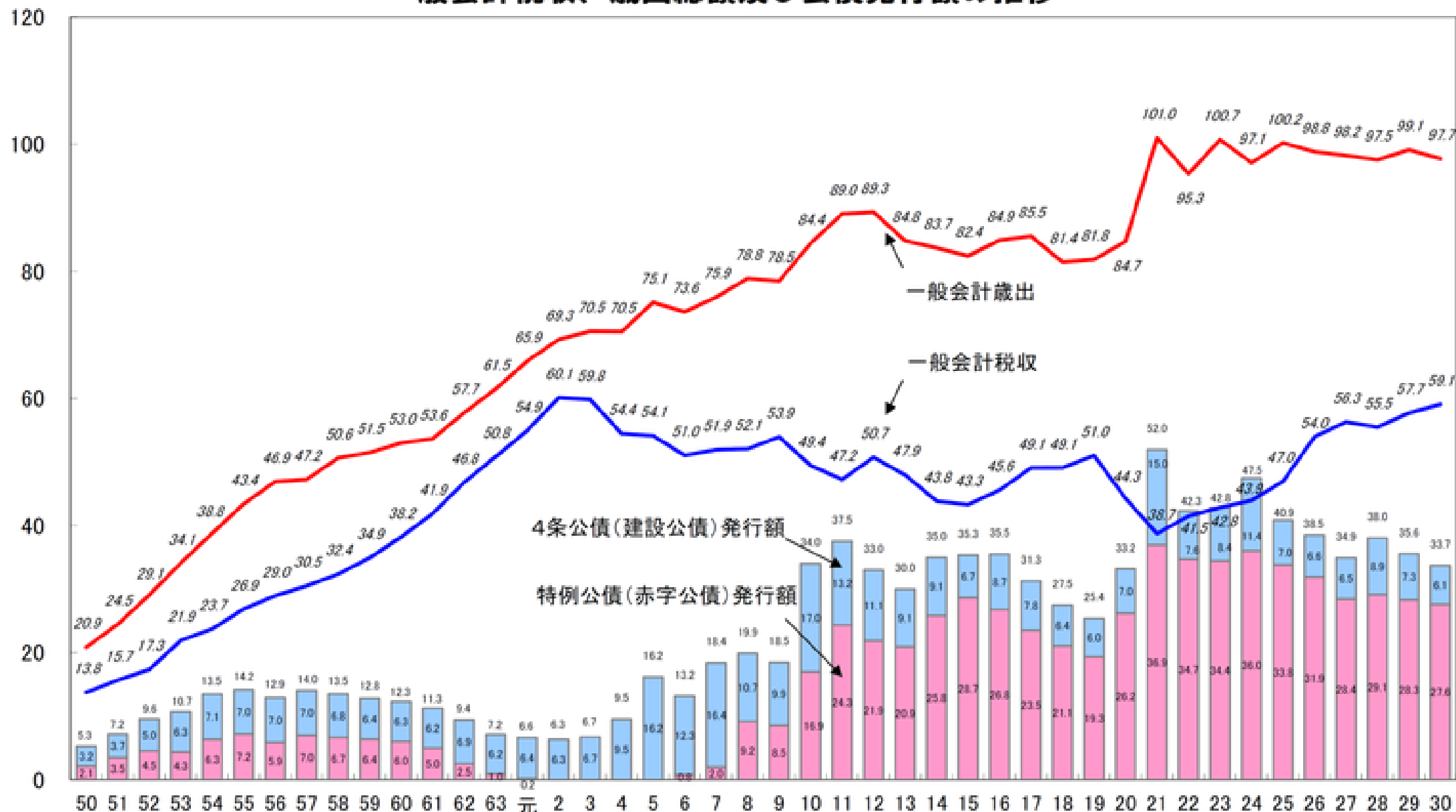
資料：中国国家统计局「中国統計年鑑2008」



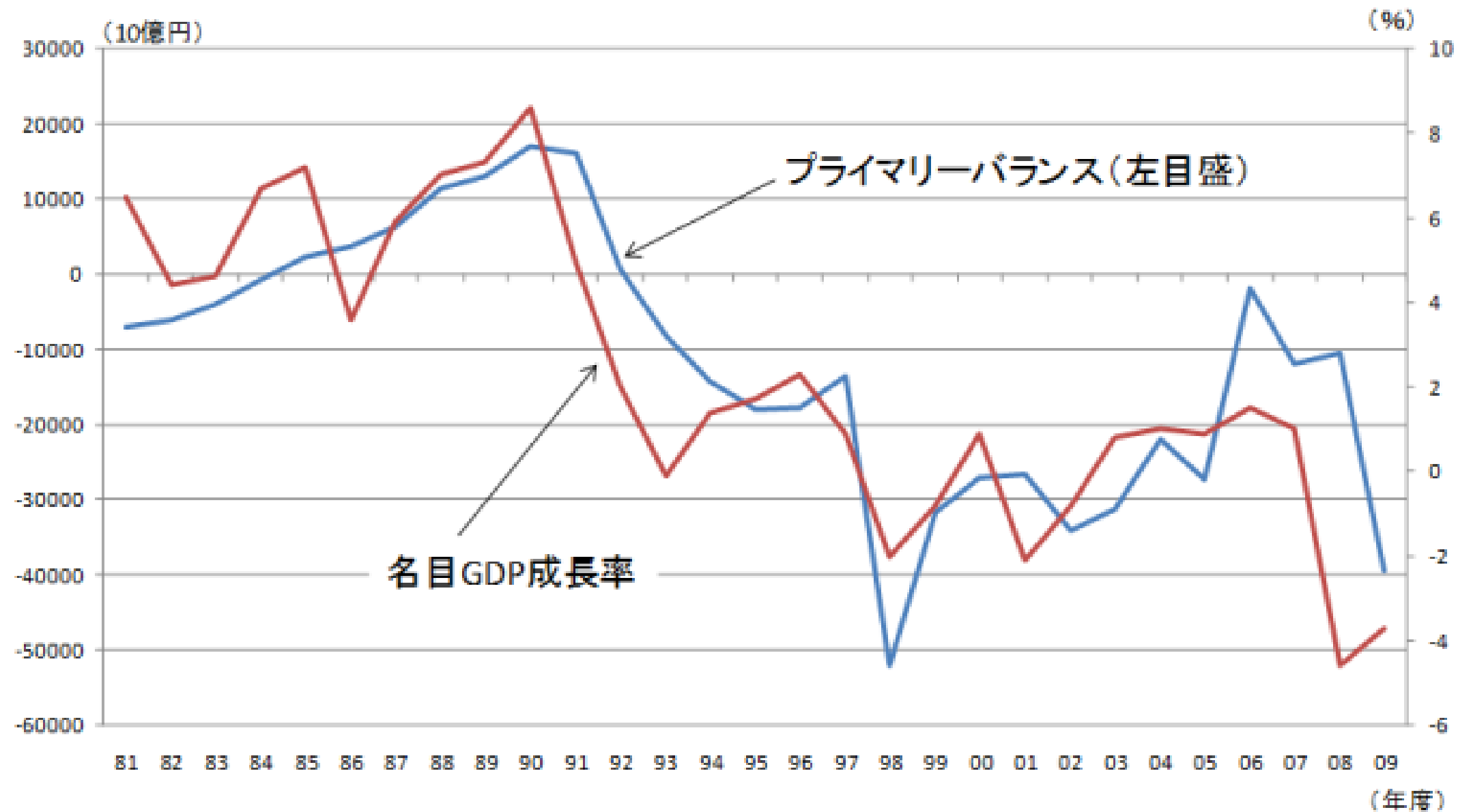
資料：中国国家统计局「中国統計年鑑」から作成。

(兆円)

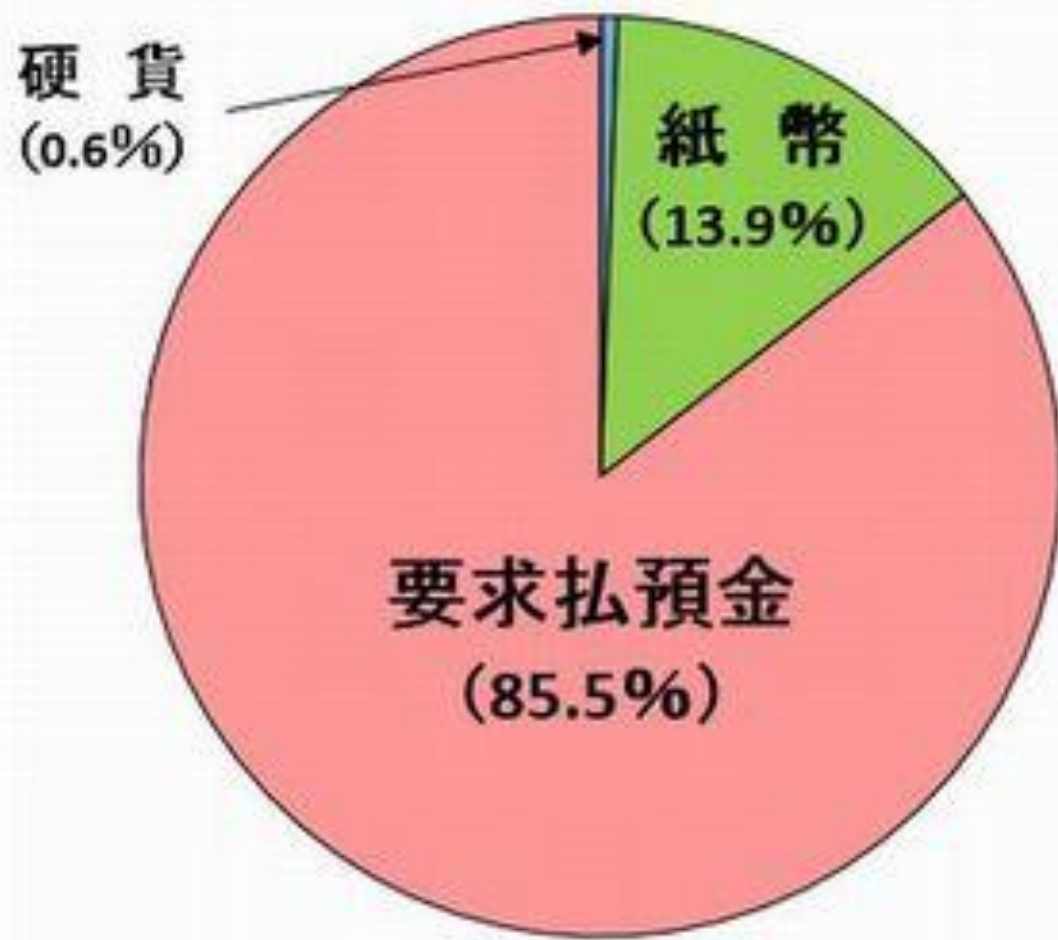
一般会計税収、歳出総額及び公債発行額の推移

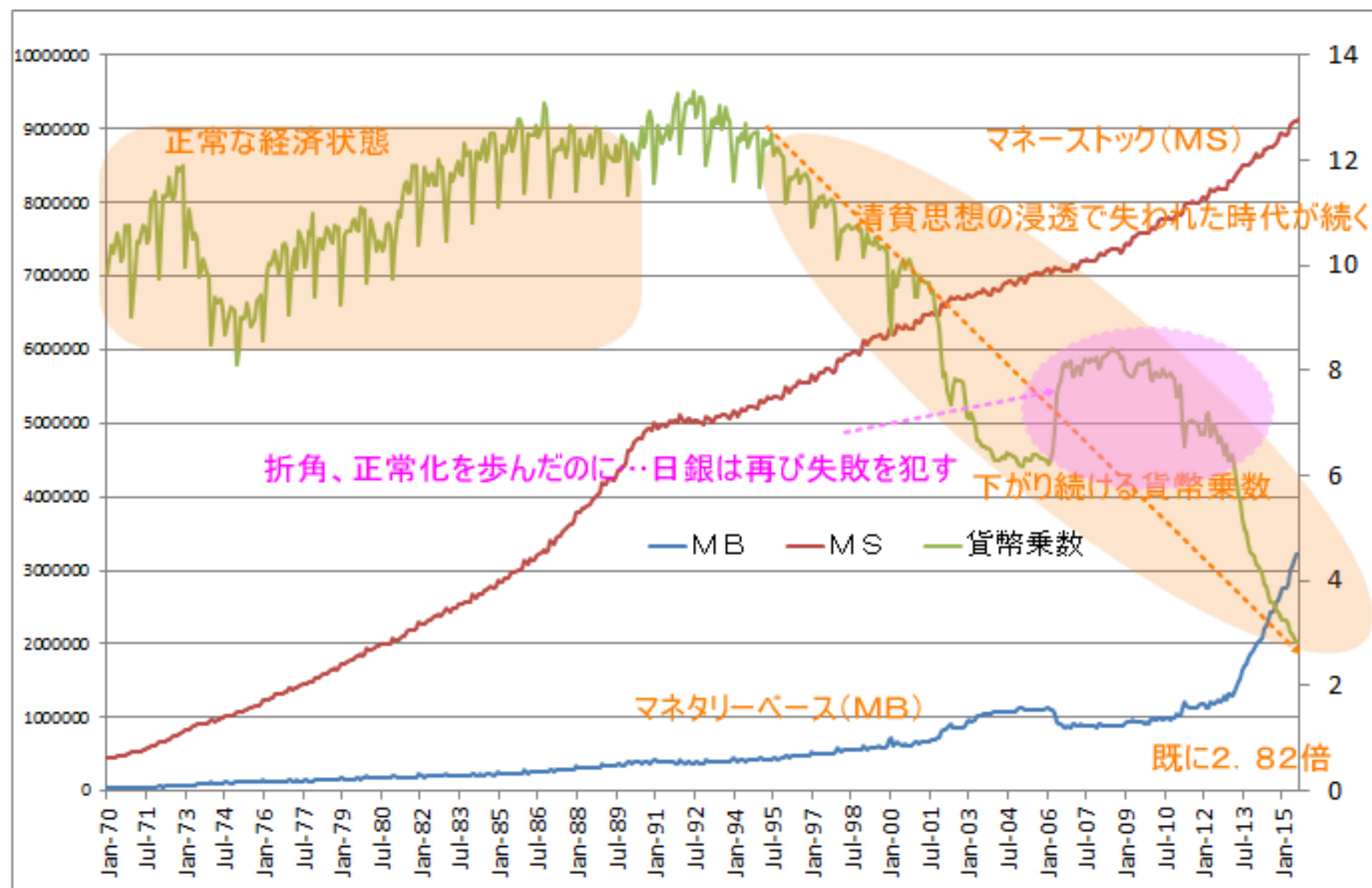


P B と名目 G D P 成長率の関係

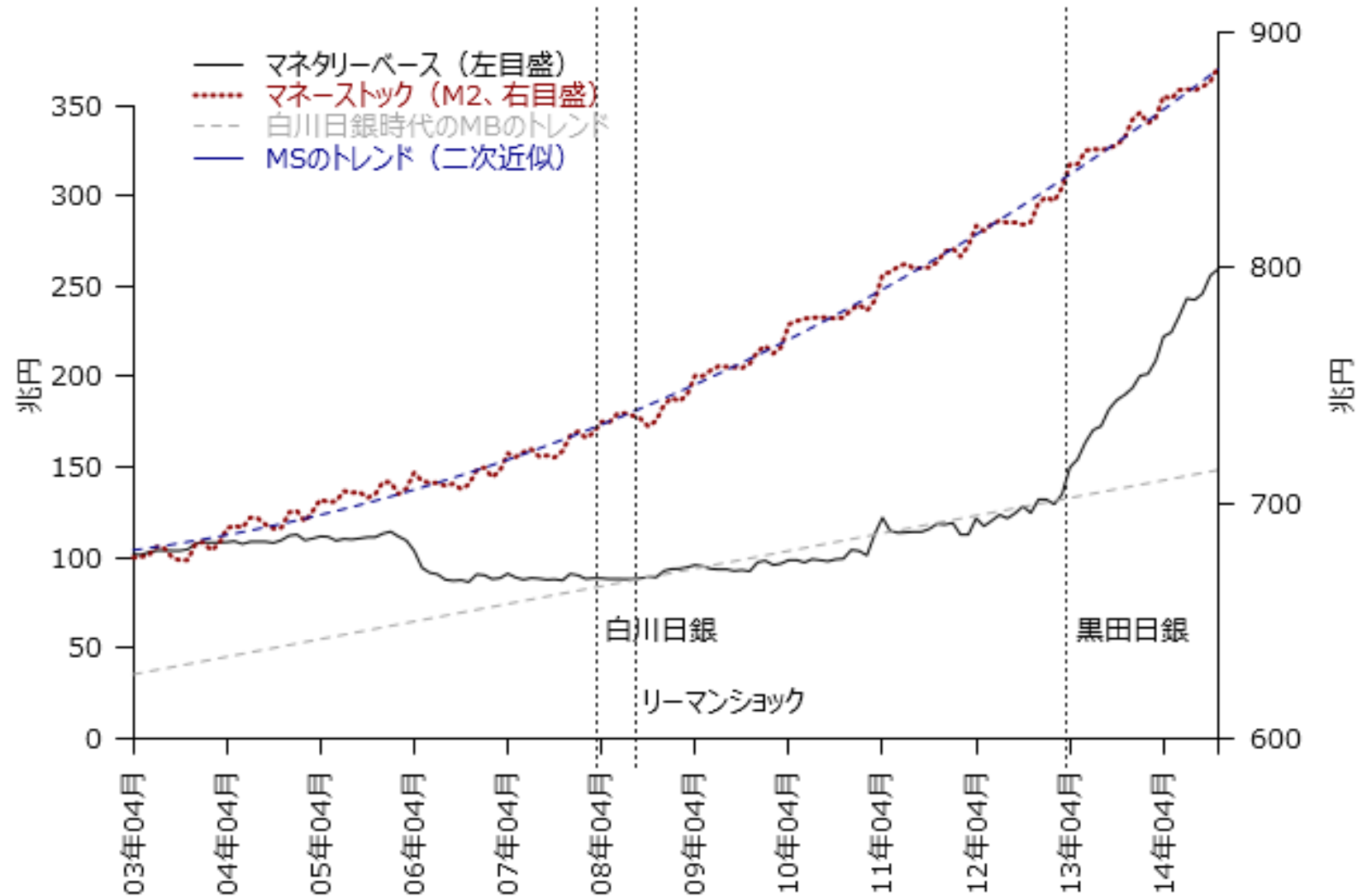


お金の主役は要求払預金



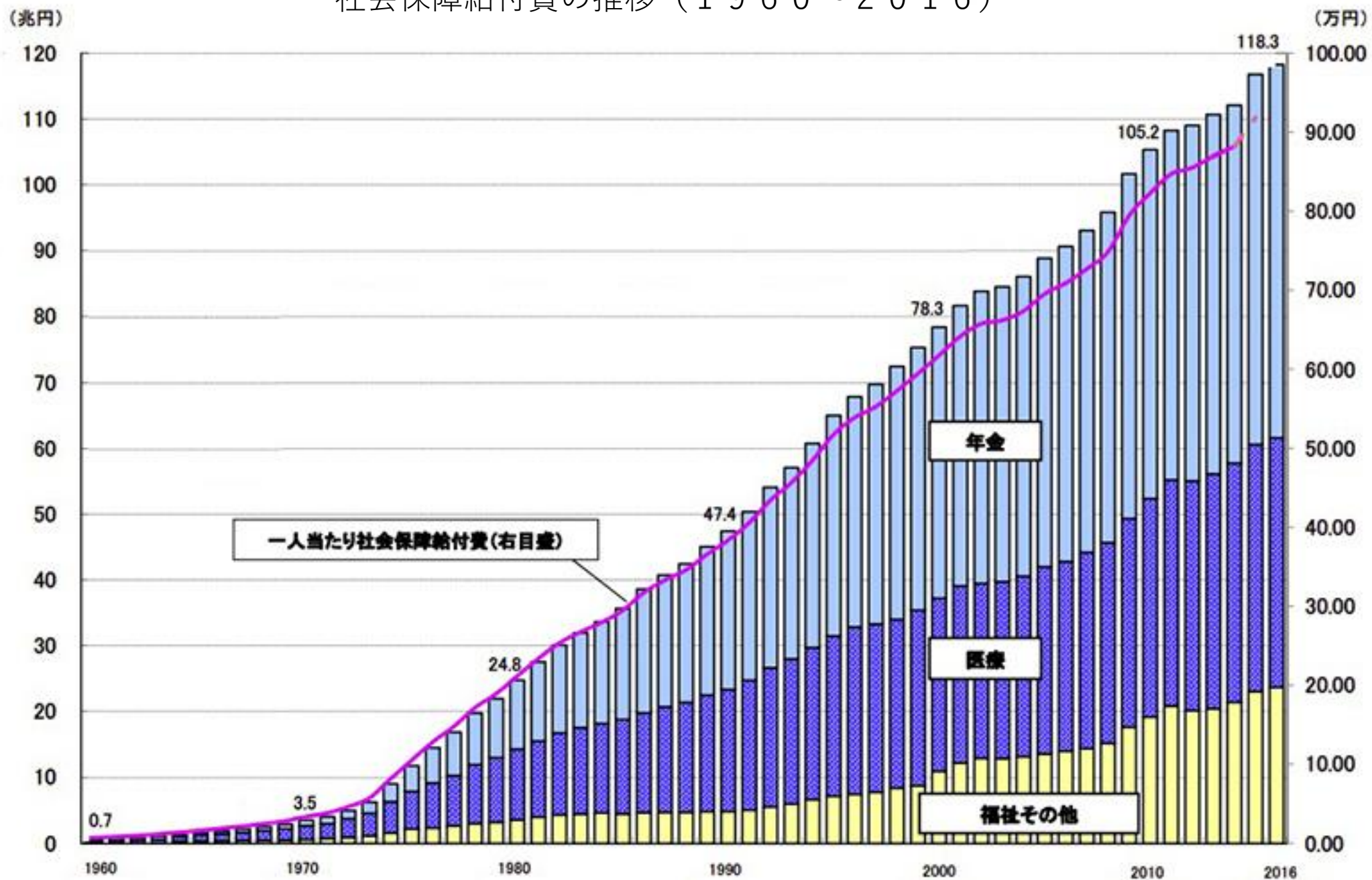


マネタリーベースとマネーストックの推移



出所) 日本銀行時系列統計データ検索サイトのデータより編集

社会保障給付費の推移（1960～2016）



ご清聴どうもありがとうございました

